



一般会計補正予算を修正可決しました

Q なんの予算を修正したの？

A 次の事業の予算(総額57万円)を削除しました。

事業名	削除した予算額
① 笠岡イノベーションリーダー養成塾 (次世代の地域づくりを担う人材を育成する養成塾を開講する。)	51万円
② 「井戸平左衛門賞」事業 (市内中学2年生を対象に、他の生徒の模範となる生徒を表彰する。)	6万円

Q なぜ修正したの？

A 主な執行部からの説明と、委員の意見は次のとおりです。



① 笠岡イノベーションリーダー養成塾

執行部の説明

本事業は、令和2年度からの2年間で高校生から社会人世代までの延べ26名が卒業している。卒業生からは「地元貢献を強く意識するようになった。」「笠岡市の課題を実体験できるような体験型のカリキュラムがあればよりインパクトがあると思う。」などのお声を、また、塾生を送り出してくれた学校の先生や、経営者の方からも様々なお声をいただいた。このことから、本事業は令和4年度当初予算において、削除となった事業であるが、笠岡の発展のためにも人材育成は一朝一夕にできるものではなく、継続が大事であるとの考えのもと、歩みを止めることなく、地道に進めていくべきと判断し、削除された事業内容に改善を加え、改めて計上するものである。

委員の意見

◇改善点について説明をいただいたが、具体性に欠けているのではないか。

◇今回ちゃんとした改善点が示されないまま、補正予算に上げられているが、そもそも事業の中身について、もう少し熟慮してほしいということで当初予算の時に削除となったのではないか。

② 「井戸平左衛門賞」事業

執行部の説明

本事業は、市内の中学2年生を対象に、勉学に励み、思いやりの心やたくましさを持ち、他の生徒の模範となる生徒を表彰するものであり、平成29年度の創設以来、表彰者は5年間で65名にもなり、学校に定着している表彰である。昨年度表彰された生徒は、最高学年となった現在でも、グループ活動や学級全体でまとめ役としてリーダーシップを発揮し、困っている級友に寄り添う気配りができ、今年もより良い学校にしようとしている。表彰されることで生徒にとっても学校にとっても良い影響がある。このことから、今年度以降も事業を継続したいと考える。

委員の意見

◇既存の善行表彰の子供版を作って対処できるのではないか。

◇この事業については、議員みんなで懸命に考え、話し合った結果、令和4年度当初予算で削除となった。それをあえて事業内容を変えず、再び補正予算として上げている。「笠岡イノベーションリーダー養成塾」と同様に、その意図が全く理解できない。